

NO 1	阿部野橋ターミナルビル省CO2推進事業	近畿日本鉄道株式会社 株式会社近鉄百貨店		
提案概要	高さ300mのターミナルビルの新築プロジェクトにあわせ、既存の商業施設とも連携して、垂直ボイドの形成や各エリア間でのエネルギーマネジメントを行うプロジェクト。パーク&ライドの推進や再生可能エネルギーの導入、隣接建物間でのエネルギーのカスケード利用などにより省CO2に取り組む。			
事業概要	部門	新築・改修・マネジメント	建物種別	建築物(非住宅)
	建物名称	(仮称)近鉄阿部野橋ターミナルビル(Aプロジェクト)	所在地	大阪市阿倍野区
	用途	事務所／物販店／飲食店／ホテル／その他	延床面積	321,000 m ²
	設計者	竹中工務店	施工者	(未定)
	事業期間	平成20年度～平成26年度		

概評

交通拠点に立地するランドマークビルに、パッシブ対策としてボイドの利用やナイトパージ(夜間外気冷却)、アクティブ対策としてバイオマス利用や高効率機器の導入、マネジメントとしてエリアマネジメントの実現など様々な省CO2技術をふんだんに取り入れており、シンボル性、アピール性は高い。

超高層の上下に重層する複合用途建築物、既存百貨店、隣接商業施設を組み合わせた面的エネルギーシステムやパーク&ライドなどもコンパクトシティを指向した新しい試みとして評価できる。

参考図

